

2. 平成3年度環境科学実習について

実習委員会委員長 国府田 悦 男

環境科学実習を必修科目(1単位)としてから5年目になる。従って、授業運営方式も定着し、プログラム作成から始まり成績評価に終わる一連の作業は、極めて円滑に進行した。具体的には、平成2年度内に、各分野から選出された6名の実習委員(田瀬則雄, 中村徹, 森下豊昭, 石見利勝, 安田八十五, 国府田悦男)により、実習テーマ, 担当教官及び実施日程等の計画がなされ、全体実習とグループ実習に分かれたプログラムが作成された。さらに、新年度(平成3年度)開始直後に行なわれたガイダンスを経て、グループ実習を選択する受講生名簿が作成された。その後、各担当教官による実習が行なわれ、それぞれの実習テーマに対して出席状況とレポートに基づく成績評価がなされた。その結果を事務的に集計して評点を算出し、単位の認定と最終成績の評価を行なった。以上のプロセスを経て117名の受講生全員に単位を認定(A評価100名, B評価12名, C評価5名)した。

平成3年度の実習テーマ, 実施日時, 担当教官, 及び受講学生数は以下の通りである。

第1回(全体実習):映像プレゼンテーション(環境政策の役割について)

4月20日(土), 吉川, 117名(内欠席10名)

第2回(全体実習):映像プレゼンテーション(発展途上国の都市環境)

4月27日(土), 石見, 117名(内欠席6名)

第3回(全体実習):用廃水管理施設見学(霞ヶ浦浄化センター)

4月20日(土), 島田・国府田, 117名(内欠席5名)

第4回(グループ実習):試験研究機関見学

G-1(農林水産省農業環境技術研究所) 5月8日(水), 東, 36名(内欠席5名)

G-2(国立環境研究所) 5月22日(水), 臼井, 31名

G-3(国立環境研究所) 5月8日(水), 下條, 50名

第5+6回(全体実習):筑波山と周辺観察

5月25日(土), 田瀬・中村(徹)ほか, 117名(内欠席4名)

第7回(グループ実習):野外における実習

G-1(大気環境測定法) 5月29日(水), 甲斐, 19名(内欠席1名)

G-2(簡易測量実習) 5月29日(水), 松本(栄), 38名(内欠席2名)

G-3(樹木の胸高直径測定) 5月29日(水), 及川, 15名

G-4(ゴミ問題に関する実習) 5月29日(水), 安田, 45名

第8回(全体実習):映像プレゼンテーション(環境問題の事例)

6月19日(水), 森下, 117名(内欠席6名)

第9回(全体実習)：筑波大学キャンパスの廃棄物管理

6月12日(水), 島田・中村(以), 117名(内欠席2名)

第10回(グループ実習)：野外見学を通じての学習

G-1(霞ヶ浦) 7月8日(月), 前田・安田, 47名(内欠席5名)

G-2(東京都大川端再開発事務所) 7月11日(木), 日端・石見, 30名(内欠席8名)

G-3(筑波研究学園都市) 7月10日(水), 糸賀・田島, 40名(内欠席11名)

なお、各テーマの実施にあたり、事務連絡や成績集計は新井叔弘技官の補佐によるところが極めて大であったことを付記する。